

# 第3回 三重救急レジリエンス・システム研究会

患者の生命が危機に瀕している救急医療現場において、救急医療者には想像できないような精神的負担がのしかかります。我々はこのような現状を打破するには、高度のストレスにさらされても希望を忘れず折れない心(=レジリエンス)を、医療者のチームプレーでシステムチックに育む必要があると考えています

今回は当院三重大学で取り組んでいるRapid Response System(RRS)に関する講義を行いたいと思います。院内での患者さんの急変事例を分析すると患者急変の数時間前から呼吸器系の異常が発生していることがわかってきました。このような状況を考えると、一般病棟や集中治療室で気道や呼吸器系の異常に早期に気付いて対応する事は重要だと考えています。

そこで手術室以外で多く発生する気道困難症例(特に一般病棟、ICU)についてシミュレーターを用いて一緒に研修医の先生と考えたいと思います。

三重大学の研修医の皆さん(看護師さんで興味のある方も)のご参加をお待ちしています

## 三重救急レジリエンス・システム研究会

代表世話人

三重大学 救命救急センター 教授 今井寛

三重大学地域救急医療リーダー育成センター 島岡要  
事務局

三重大学 救命救急センター 助教 川本英嗣

日時 平成29年6月1日 19:00—21:00

場所 三重大学医学部附属病院  
スキルズラボ

## 講演

初期研修医の先生に知って欲しいER/ICU/一般病棟での  
DAM(Difficult Airway Management)

## 演者 川本英嗣 先生

三重大学 医学部 救命救急センター 助教

三重大学地域救急医療リーダー育成センター 副センター長



要旨)

過去の研究で一般病棟や救急外来、集中治療室でのDAM症例は手術室での発生頻度よりも高いことが指摘されています。これは手術室で働く麻酔科医の医師よりも一般病棟/ER/ICUで働く医師の方が気道困難に対して慣れていないことも影響しているのかもしれませんが。今回は初期研修医の先生にぜひ知っておいてもらいたい幾つかの気道確保困難症例への対応についてお話しします。興味のある先生は参加してください。

本件に関するお問い合わせ:  
三重大学医学部附属病院 救命救急センター  
川本英嗣 E-mail: a-2@umin.net

主催 三重大学地域救急医療リーダー育成センター  
共催 MUECC 三重大学 救命救急センター  
後援 NPO法人 MMC卒後臨床研修センター